

(別紙様式1)

## 令和3年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 青森県  
農業委員会名： 蓬田村 農業委員会

### I 農業委員会の状況(令和3年4月1日現在)

#### 1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)
総農家数	194
自給的農家数	30
販売農家数	164
主業農家数	50
準主業農家数	22
副業的農家数	92

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	224
女性	89
40代以下	32

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	174
基本構想水準到達者	9
認定新規就農者	1
農業参入法人	0
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※ 農業委員会調べ

	田	畠				計
			普通畠	樹園地	牧草畠	
耕地面積	1,060	116	116	0	0	1,170
経営耕地面積	911	15	15	0	0	926
遊休農地面積	1	0	0	0	0	1
農地台帳面積	1,107	111	111			1,218

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項  
第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

#### 2 農業委員会の現在の体制

農業委員数	定数	実数
	10	10
認定農業者	—	8
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	1
40代以下	—	
中立委員	—	1

任期満了年月日 R 5年7月19日

農地利用最適化推進委員	定数	実数	地区数
	8	8	8

## II 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月1日現在)	管内の農地面積 1,170ha	これまでの集積面積 634ha	集積率 54.18%
課 題	農業従事者の減少・高齢化等による自己保全地の増加、農地の分散錯囲等が、農地の確保・有効利用を図る上での課題になっている。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

### 2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 10ha	(うち新規集積面積 10ha)
	目標設定の考え方:令和3年度中に、集積率55%以上の確保。	
活動計画	農業委員による日常活動の展開として、農地の出し手(所有者)と借り手(担い手)それぞれを仲介して、担い手に対する農地利用集積を推進する。	

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

## III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

### 1 現状及び課題

新規参入の状況	30年度新規参入者数	元年度新規参入者数	2年度新規参入者数
	0経営体	0経営体	0経営体
	30年度新規参入者が取得した農地面積	元年度新規参入者が取得した農地面積	2年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	0ha
課 題			

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

### 2 令和3年度の目標及び活動計画

参入目標数	0経営体	参入目標面積	0ha
活動計画			

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

## IV 遊休農地に関する措置

### 1 現状及び課題

現 状	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
(令和3年4月1日現在)	1,170ha	1.3ha	0.11%
課 題	現在1.3haの耕作放棄地が確認されており、その解消と併せて今後の発生防止する対策が必要である。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

### 2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 1ha 目標設定の考え方:遊休農地すべてを計画対象とし、重点的に解消することを目的とする。		
	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
農地の利用状況調査	20人	9月～11月	11月～12月
	調査方法	• 遊休農地発生防止に向けた取り組み 10月 委員・推進委員による検討会の開催 11月 管内農地パトロール • 遊休農地解消に向けた取り組み 農地所有者に対する指導、担い手への利用集積	
農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	12月～令和4年1月	令和4年2月～3月	
その他			

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

## V 違反転用への適正な対応

### 1 現状及び課題

現 状	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
(令和3年4月1日現在)	1,170ha	0ha
課 題	農地所有者が、手続をせずに違反転用する恐れがある。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

### 2 令和3年度の活動計画

活動計画	違反転用の解消や早期発見・未然防止のために、10月に農地パトロールを実施
------	--------------------------------------

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入